

浦臼町

0342 和田 鮎奈

1. 浦臼町の歴史

1-1 地名の由来

浦臼とはアイヌ語で「ウライ・ウシ・ナイ」(網を干すところの川)から転訛したものとされる。あるいは「ウラシ」(笹の多いところ)に由来するという説もある。



出典：浦臼町公式

1-2 歷史

浦臼町は 1887 年樺戸集治監の囚人によって、月形～晩生内間道路を開削したことにより未墾の地に開墾の鍬が入った。また、1891 年に増毛街道（原国道 275 号）の中継地として駅屯所が置かれ、その後、徳島県や高知県などから開拓団が入地し、未開の大地に鍬が入れられ開墾された。当時の月形村からの独立の気運が高まり 1899 年念願の分村を果たし、「浦臼」として第一歩を歩み始めた。1960 年には町制を施行。農業をはじめ激動する社会情勢に幾多の社会情勢に幾多の変貌を経ながら現在に至っており、2010 年には開町 111 年、町制 50 年を迎える。

2. 地理・気候

2-1 地理

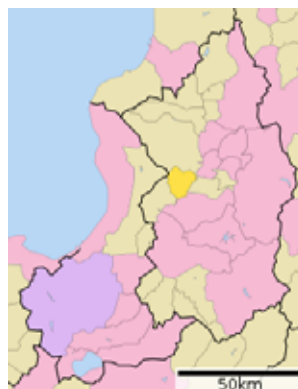
浦臼町は北海道の道央、空知支庁管内の西部にあたり、北緯 43 度、東経 141 度、北は新十津川町、南は月形町、西は石狩川を隔てて美唄市、奈井江町、砂川市に接し、面積は 101.08 k m である。地勢は概ね平坦であるが、西部に行くに従って丘陵地となっており南東部には数多くの川や沼地が散在し、地味は肥沃で埴壌土及び砂壌土地帯が多くなっている。

図2 北海道から見た浦臼町的位置



出典：浦臼町公式 HP

図3 空知支庁内での浦臼町的位置

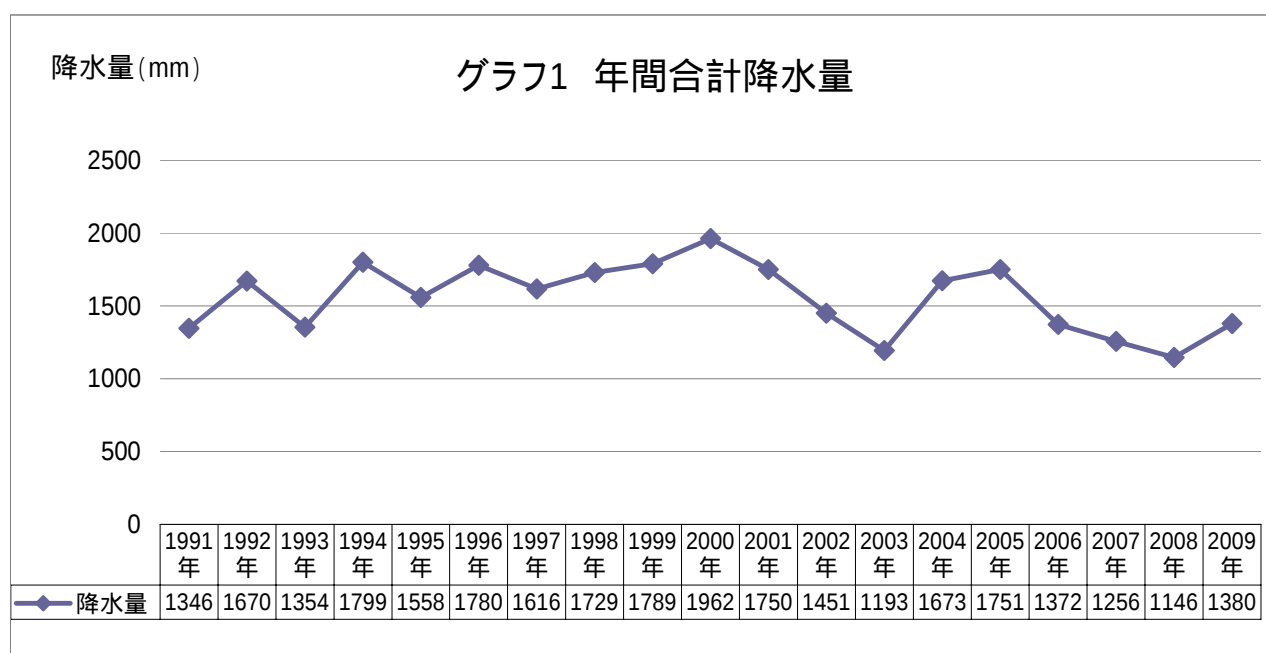


出典：ウィキペディア

2-2 気候

気象は、北西の樺戸連山が日本海側からの強風をさえぎるため気象の悪影響を受けることなく、比較的温暖で農耕に適している地域であるが冬季は降雪量が多く、年間の降雪量は 13m から 14m に達する。年間の最高気温は 32.2 、年間最低気温マイナス 21.1 、年間平均気温 7.1 、年間日照時間 1,419 時間、年間降水量 1,111mm、平均積雪深 99 c m、積雪期間 129 日となっている。

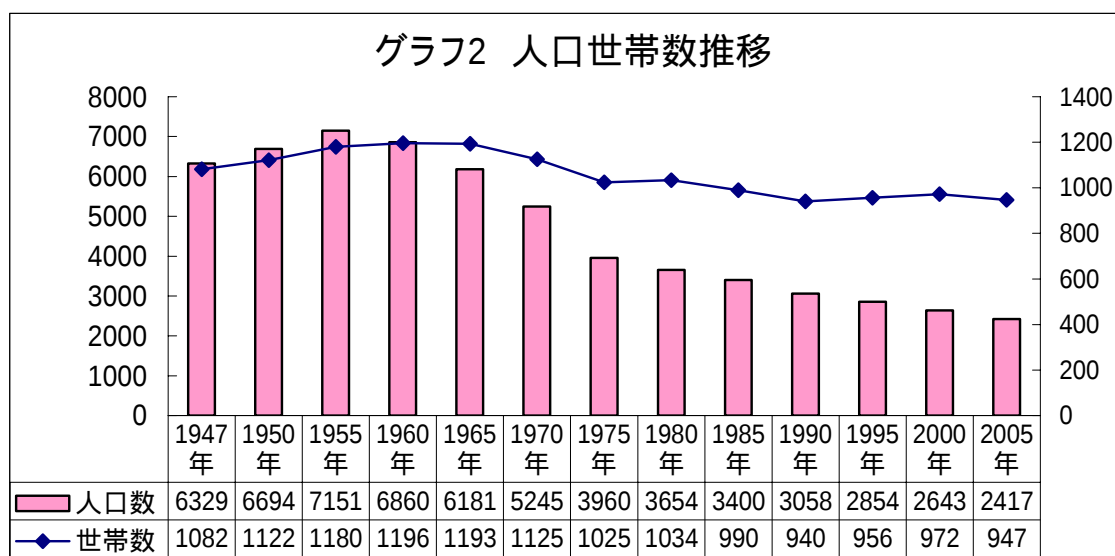
グラフ 1 は年間合計降水量を表しているが、降水量は増減を繰り返しており比較的一定であるとは言えない。最高合計降水量は 2000 年の 1962mm で最低合計降水量は 2008 年の 1146mm である。



出典：気象庁 HP

3. 人口・世帯数推移

国勢調査によると、浦臼町の人口は 1995 年の 7151 人が最も多く、1995 年を境にして人口は減少し続けている。最新年の 2005 年の人口は 2417 人で 1995 年と比較すると 4734 人も減少しており、1995 年の人口の約三分の一である。一方で世帯数はほぼ一定を保っており、大きな変化が見られない。また、一世帯あたりの人口も 1995 年は 7 人であったが、2005 年には 3 人と半分を切っており、核家族化・少子化が進んでいることが推測できる。



出典：国勢調査

4. 産業

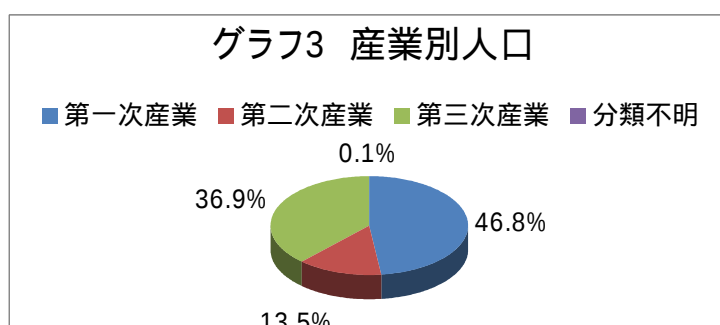
4-1 浦臼町の産業

浦臼町は、第1次産業への就業割合が高く、純農村の形態を象徴している地域である。産業別就業構造では、第1次産業が就職人口 605 人で構成比 46.8%、第2次産業が就職人口 175 人で構成比 13.5%、第3次産業が就職人口 512 人で構成比 36.9%と第1次産業が最も多く、且つ農業従事者が大半を占めている。第2次、第3次産業は建設業、小規模商店の従事者及び近隣市町村に通勤する会社員である。第1次産業に関連した食品産業としては、農業者の女性グループを中心としたブドウジャム、トマトジュース等の加工がある。

図4 ワイン用ブドウ畑



出典：浦臼町公式 HP



出典：農林水産省HP

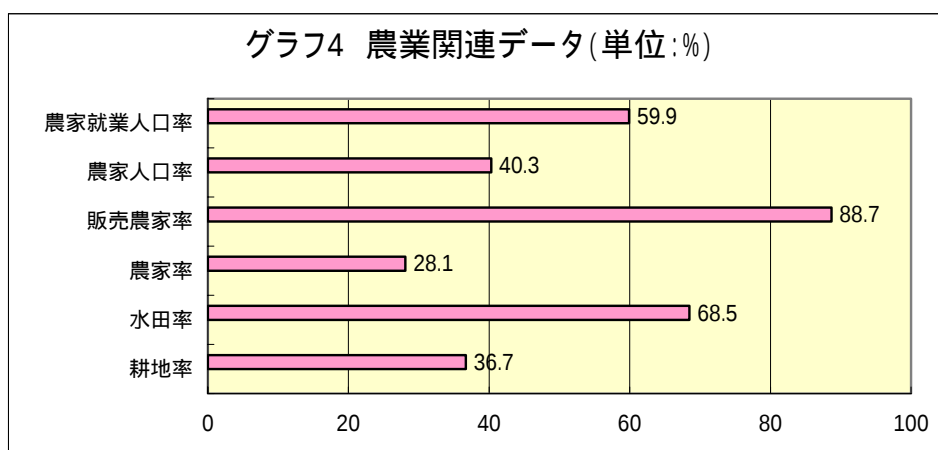
4-2 浦臼町の農業

浦臼町は、稲作を基幹作物として発展してきたが、近年の転作などにより高収益作物である野菜・果樹・花きを取り入れた複合経営への転換を図っている。農家 1 戸当たりの平均規模は 8ha であり、営農類型別に見ると水稲専業 13ha、水稲・畑作 16ha、水稲・野菜・果樹 12ha、水稲・花き 6ha、水稲・肉用牛 11ha である。また、農従事者の高齢化の進行や担い手不足などに加え、米の生産調整と農作物価格の低迷から農業所得が伸び悩み、米を中心とした複合経営の推進と野菜・果樹など地域の農産物を活用した加工販売の取組による農村女性グループの育成、高齢者の生産活動の参加などが取り組まれている。

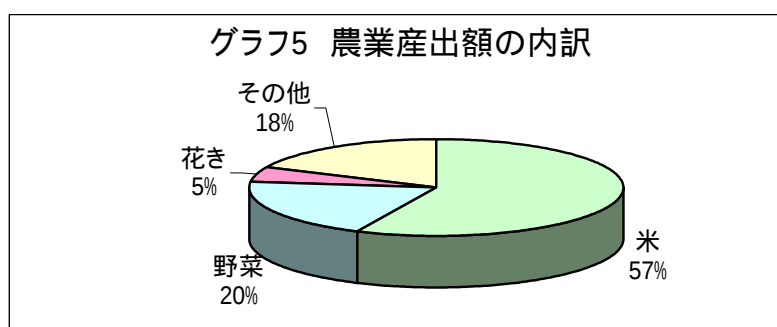
グラフ 4 は農業関連のデータを表している。まず、農家率は販売農家率が 88.7%、農家率が 28.1%と販売農家人口が圧倒的に多くなっている。次に、農業の割合は水田率が 68.5%、耕地率が 36.7%と水田のほうが多くなっている。

また、農家数は 266 戸で、そのうち 30 戸が自給的農家、236 戸が販売農家である。農家人口は男性が 482 人、女性が 492 人で合計が 974 人と女性のほうが若干多くなっている。

グラフ 5 は農業産出額の内訳を表している。農業産出額は合計が 285 千万円である。そのうち米が 163 千万円で全体の 57%、野菜が 58 千万円で 20%、花きが 14 千万円で 5%となっている。その他の 18%は麦類、豆類、イモ類等からなっている。



出典：農林水産省HP



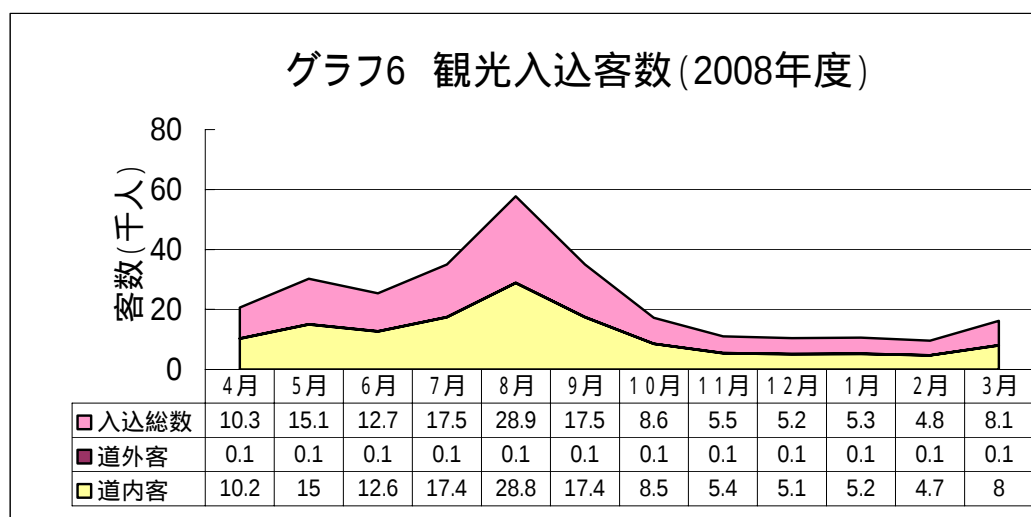
出典：農林水産省 HP

5. 観光

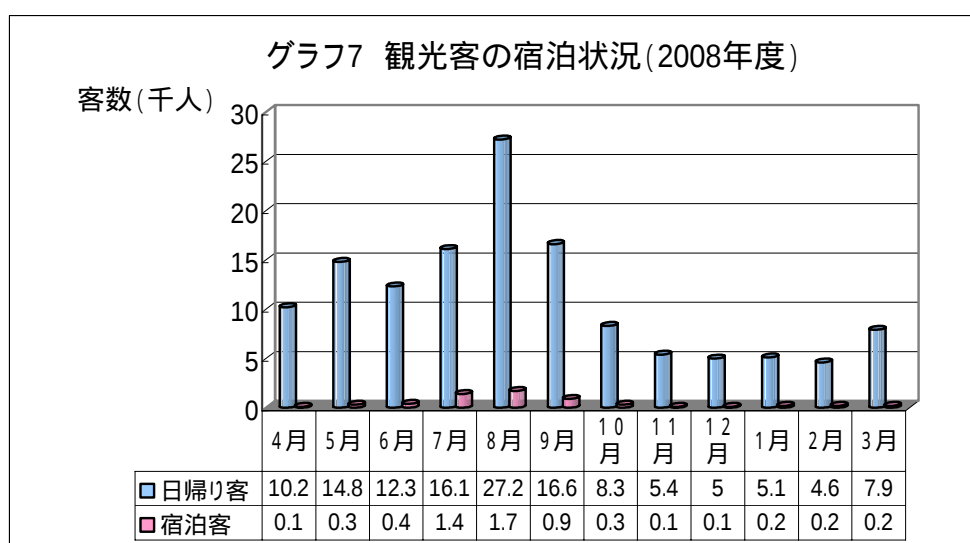
5-1 観光入込客数

グラフ 6 より観光入込客数は春から夏にかけて増加していき、8 月を境にまた秋から冬にかけて減少している。また、道内客と道外客を比較すると道内客のほうに圧倒的に多いことが読み取れる。

グラフ 7 は観光客の宿泊状況を表したもののだが、やはり宿泊客数も他の季節に比べて夏が多くなっている。また、日帰り客数と宿泊客数を比較してみると日帰り客は年間合計 134 千人宿泊客 6 千人と、日帰り客数のほうが宿泊客数よりも多く、宿泊客数を常に上回っている。



出典：北海道庁



出典：北海道庁

5-2 観光スポット

図 5 鶴沼公園

5-2-1 鶴沼公園

キャンプにボート、テニスコートや遊具と、幅広い世代の人が楽しめる公園。キャンプ場は、オートキャンプ場 24 区画、バンガロー 6 棟とフリーテントサイト約 80 張、更にコインランドリーや温水シャワーもあり、近くには温泉やレストランもある。札幌圏と旭川圏のほぼ中間の約 65km に位置し、日帰りコースとしても人気が高く、加えて「自然休養村センター・温泉保養センター」からの眺望も四季折々で楽しめる「安・近・短」な観光スポットである。



出典：浦臼町公式 HP

図 6 坂本家の墓



出典：浦臼町公式 HP

図 7 浦臼郷土資料館



出典：浦臼町公式 HP

5-2-2 坂本家の墓

坂本龍馬の養子高松太郎が没した後、妻の留とその息子が浦臼にすでに入植していた坂本直寛を頼りに移住し、没するまで町内で駄菓子屋を営んで生計を立てながら、浦臼町の発展に尽力した。そのゆかりの品々は、浦臼町郷土資料館に収蔵され展示されている。

5-2-3 浦臼郷土資料館

開拓時から昭和 30 年頃迄使用されていた生活用具や農道具玩具など歴史的にも大変貴重な史料が多数展示されている。特に、明治維新の立役者坂本龍馬と浦臼町のつながりを証明する貴重な品々が常時展示されている。

図 8 浦臼町観光スポット一覧表



出典：浦臼町公式 HP

5-3 浦臼町イベント

5-3-1 うらうす夏の味覚祭り

地元農畜産物や加工品の販売をはじめ、ビールやワイン、焼き鳥などの出店コーナー、打ち立ての牡丹そば手打ち販売など、浦臼の特産品が楽しめる他、沼を自転車で渡りきる、水上チャリンコトライアル、水上オートバイやスーパーキッズボートが体験できる水上イベント、釣ってけつるぬま！釣り大会、豪華景品が当たるスーパービンゴゲーム、花火大など、盛りだくさんの内容で行われる新イベント。

図9 水上チャリンコトライアル



出典：浦臼町公式 HP

5-3-2 浦臼産ぼたんそば新そば収穫祭 in 浦臼

浦臼産ぼたんそばを使った手打ちそば実演、そば屋台で新そばの食べ歩きができるほか、毎年恒例のそば早食い大会、子供遊びコーナー、特産品販売なども開催される。

図10 ぼたんそば早食い大会



出典：浦臼町公式 HP

参考 HP

- ・北海道庁 HP : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>
- ・浦臼町公式 HP : http://www.town.urausu.hokkaido.jp/g_index.html
- ・気象庁 HP : <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- ・農林水産省 HP : <http://www.maff.go.jp/>
- ・わがマチ・わがムラ
: <http://www.machimura.maff.go.jp/machi/map2/01-02/431/index.html>
- ・ウィキペディア : <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B5%A6%E8%87%BC%E7%94%BA>